

## II 教育目標

### 1. 校訓 「自立 協働 創造」

### 2. 経営理念

生徒・教職員・保護者・地域が連携し、校訓「自立 協働 創造」に基づいた教育目標および、めざす生徒像の実現に向け、「主体的に考え、仲間と共に支え合い、高め合いながら新たな価値を創造していく力」を伸ばしていく学校づくりをめざし、次の3点に重点を置いて取り組んでいく。

それぞれのウェル・ビーイングの実現をめざして、生徒も教職員も

- (1) 新たな課題に**主体的に**対応できる力の育成 ・・・ 自分の頭で**考える** 粘り強く自らを鍛える
- (2) 組織的**協働的に**課題解決できる集団の育成 ・・・ **仲間とともに**伝え合い、認め合い、高め合う
- (3) 自律的に**学び続ける**人材の育成 ・・・ **なりたい自分**になるために

### 3. 教育目標 「主体的に学び、心豊かで創造性に満ちた生徒の育成」

### 4. 教育方針

#### (1) 新たな課題に**主体的に**対応できる力の育成 **【自立】**

- ・ 新たな課題や変化を前向きに捉え、どんなことでも自分の頭でしっかりと考えて、判断すること。人任せにするのではなく、人に流されるのではなく、人に言われるままでもない。自分はどう思うのか、どうしたいのか、どうするのか、しっかりと自分の頭で考えて、粘り強く自らを鍛える力を育成する。

#### (2) 組織的**協働的に**課題解決できる集団の育成 **【協働】**

- ・ 仲間を大切にし、互いに自分の想いを伝え合い、認め合い、折り合いをつけ、高め合うことができるよう、あたたかい関係を築くこと。仲間との関わりの中で、新たなものの見方や考え方で、感性豊かな集団として高めていく力を育成する。
- ・ ふるさとを大切にし、生徒・教職員・保護者・地域が協働して「地域に誇れる学校」づくりを推進する。

#### (3) 自律的に**学び続ける**人材の育成 **【創造】**

- ・ 未来を切り拓く創造の気概をもち、キャリア教育を通して、多様な感性をもつ仲間たちと想いを共有しながら、なりたい自分になるために学び続ける力を育成する。

### 5. めざす生徒像

- (1) 自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる感性豊かな生徒 (徳)
- (2) 夢や目標の実現に向け、学び続ける心身ともにたくましい生徒 (体)
- (3) 学力向上に向け、主体的・協働的に粘り強く自らを鍛える生徒 (知)

### 6. めざす教師像

- (1) 教職に対する強い使命感と誇りをもち、生徒に対する愛情と責任感をもつ教師
- (2) 教育の専門家としての力量を高め、学び続ける教師
- (3) 教職員相互の意思疎通を図り、同僚と高め合う教師
- (4) 生徒・保護者・地域から信頼される教師

### 7. めざす学校像

- (1) 笑顔と挨拶があふれる活力ある学校
- (2) 集団の自治能力と向上心のある学校
- (3) 潤いのある、凛とした美しい学校
- (4) 保護者・地域から信頼される学校

## 8. 学校の現状

- (1) 素直な生徒が多く、全体的には落ち着いているが、課題を自分事として捉え、主体的に学びに向かう力、自分で考える力が弱い。
- (2) 学習面や生活面に支援を必要とする生徒が見られ、不登校(傾向)生徒に対する支援が課題である。
- (3) 若手教員が育ってきており、中堅やベテランとの連携した教育活動が進められ、職場に活気を感じる。若プロ研修をより活性化させ、全教職員の資質能力の向上に努める。

## 9. 重点目標

### (1) 豊かな心と健やかな体の育成

- ① 学級経営の充実を図り、信頼に基づいたあたたかい人間関係を構築することで、安心して過ごせる居場所としての学習集団を形成する。
- ② 道徳の授業を要として、教育活動全体で道徳教育の充実を図ることで、感性を磨き、よりよい生き方について考え、行動する力を育成する。
- ③ 生徒一人ひとりが自ら考え、判断し、決定する場面を設けたり、生徒会等の自治活動を推進し、学校行事や挨拶運動等の充実を図ったりすることで、自己肯定感や自己有用感の高い、活気ある集団を形成する。
- ④ 教育相談を充実し、生徒理解や個々の状況に応じた支援に取り組むことで、いじめ・不登校等の未然防止につなぐ。
- ⑤ 心身の健康に関心をもたせ、自他を大切にするための保健・安全教育を推進することで、学び続けるたくましい心身を育成する。

### (2) 確かな学力の定着

- ① 新たな課題や変化を前向きに捉え、生徒一人ひとりが自ら考え、判断し、決定する場面を設けることで、粘り強く自らを鍛える主体的な学習態度を育成する。
- ② 自分の考えをもち、仲間との学び合いを通して多様な感性に触れることで、自分の思いや考えを深める授業づくりを推進する。
- ③ 1人1台端末などのICT機器を効果的に活用することで、考えの共有や学び合いが効率的に行われるようとする。
- ④ 授業での学びと家庭学習をつなぐ働きかけをすることで、自律的に継続して家庭学習に取り組む態度を育成する。
- ⑤ キャリア教育を推進することで、将来への夢や目標をもち、進路実現に向けて自らを律し、学び続ける態度を育成する。

### (3) 家庭・地域との連携

- ① 報告・連絡・相談を密にし、保護者対応等に誠意と熱意をもって迅速な対処を図ることで、信頼関係を構築する。
- ② 地域の人材や企業を活用したり、同窓会やPTA、小学校との連携を図ったりする等、開かれた学校づくりを推進することで、生徒の郷土愛を育む。

### (4) 組織的な学校運営

- ① カリマネの柱「自分の頭で考え、仲間とともに学び続ける力の育成」を共有し、職員一人ひとりが学校運営に参画意識をもつことで、職員間の連携強化および組織の機能化を図る。
- ② 何のためにその活動をするのか目的意識を明確にし、共有することで、組織の効率的な運営と業務改善を図る。